

清水町議会議員と清水高校生との意見交換会（報告書）

1 日 時

令和8年6月8日(月) 13:15～15:00

2 会 場

北海道清水高等学校 2階会議室

3 出席者

清水高校：高校生 36 名、担当教員 3 名

（3 年次「社会探究」受講生 36 名のうち模擬議会受講生 5 名、模擬議会以外 31 名）

※当日出席：高校生 32 名（模擬議会受講生 5 名、模擬議会以外 27 名）、担当教諭 3 名

清水町議会：議員 13 名、事務局 2 名（局長・次長）

※当日出席：議員 11 名（欠席：桜井議員、佐藤議員）、事務局 2 名（局長・次長）

4 内 容

総合進行：宇都宮事務局長

（1）開会挨拶

議会運営委員会委員長 橋本 晃明

会場のセッティング、交流の場を作っていただき感謝する。本町議会において団体との意見交換会や出前講座を行う制度ができたばかりで、この場が、この制度の記念すべき第1号となり、いつまでの記録にも記憶にも残る。1部がパネルディスカッション、2部と3部がグループメンバーを変えて意見交換を行うワールドカフェ方式。皆さんの声を少しでもたくさん聴けるような会にしたいと思う。

（2）意見交換会①～パネルディスカッション～町議会議員の方々へ聴く

- ・司会進行は清水高校生が行う。
- ・模擬議会の担当生徒から議員へ代表質問を行い、状況に応じて出席生徒全体からの質問を受け付ける。

進行：高校生【模擬議会受講生】

【代表質問】（模擬議会受講生による質問）

※質問者が回答者を指名する。回答の発言は1分でベルが鳴る。

質問：高校生～議員になろうとしたきっかけは？

→田村議員、只野議員、川上議員へ質問

田村議員～役場（行政）、地方創生コンサル業（民間）、議会（立法）といういろいろな立場で、ふ
るさと清水町を良くしたいという思い。民間での最初の仕事は御影アイスホッケーア
カデミー。

只野議員～若い頃から町を良くしたいという思い。観光協会会長も経験。議員になったきっかけ
の一つとして前町長、副町長の力になればという思いもあった。

川上議員～役場職員としてまちづくりに携わった。議員としては、住民が安心して住みやすい町
にしたい。

質問：高校生～議員としてのやりがいは？

→中河議員、鈴木議員へ質問

中河議員～町の民生委員 8 年程勤め、町民のところを回るうちに困難なことを抱える年寄りがい
ることが分かった。議員は困難なことを抱える方を全町的に改善していくことができる。

鈴木議員～やりがいがありすぎ。困った人いると助けなければならない。例えば、障がいのある
人へは福祉や医療、近所につなげるとか、除雪で困っている場合は機械を持っている
農家を紹介するなど、人と人を繋ぐマッチング要素があると思う。

質問：高校生～今の清水町の課題は？

→橋本議員、西山議員へ質問

橋本議員～清水町の農家はバラエティーがあり多様性に富んでいる。これをまとめて強みを生か
していくのが課題。

西山議員～人口が減り、商店街の店が減っている。いかに人口を維持し、商店街をどう守るかが
課題。

質問：高校生～若手の議員が少ない現状をどう考えているか？

→山本議員、中島議員へ質問

山本議員～町民の意見を町政に反映するためには多様性が必要。それぞれの世代から議員が出て
くるのがよい。議員の魅力を伝えるために活動している。

中島議員～教委のとき、清水高校を元気にするために、総合学科への取り組みを行った。清水町
を元気になるために、清水高校生に頑張ってほしい。

質問：高校生～今一番力を入れている取り組みは？

→深沼、山下議員へ質問

深沼議員～議会の議会活性化を進めている。いろいろな人の意見を聴いて、よいまちづくりがで

きればと取り組んでいる。

山下議員～議会の活性化を進めている。女性・若者が参加しやすい議会を目指している。社会に参加しづらい方が気軽に相談・参加しやすくなればよいと思っている。

【全体から質問】

質問：高校生～町名変更について、若い人が関われる・意見を言い合える場をつくってほしいが、
考えはあるか？

鈴木議員（挙手）～議員間で考えが拮抗している。町名変更に関して意見を言う場に参加したいか、逆に質問したい。

高校生～積極的に意見を述べたいと思う。

質問：高校生～町民の外食の選択肢を広げるために、清水町にチェーン店を展開できるか？

只野議員（挙手）～観光協会の会長と商工会の副会長を務めていたが、昔は、大手のチェーン店が来ると中小のところが大変になるので、来てほしくないようなスタンスであった。今は、入ってくることに対して止めることはしていない。市場調査を行っていると思うが、今は入ることが厳しくなっているのではないか。商工会や観光協会がタイアップしていろいろな策を講じているが、メニューや特産品開発が希望通りには至っていない。皆さんからどんどん意見をいただきたい。

質問：高校生～町名変更をした際のメリット・デメリットは？

川上議員（挙手）～最大のメリットは、清水町はどこにでもある地名であるので、十勝という冠をつけて、将来を見据えて、十勝ブランドを全国展開するため。十勝は全国的なブランドである。デメリットは、6,000 万円の予算がかかることや、町民が細かい変更をしなければならないこと。

中河議員（※後半の代表質問の終わりの際に、町名変更のメリット・デメリットについて、賛否両方から意見をもらう必要があるということで発言があった）～はじめは、1 億円のお金がかかるということであったが、今は6 千万との説明である。私は、町名変更については、今回は町長からの提案であったが、町民から意見が出てきてその力でやるのが一番良いと思う。

質問：高校生～アイスホッケーのリンクが4～6 月まで閉鎖している。通年リンクにしてほしいが、どのような考えか？

田村議員、西山議員（挙手）～地面が凍上し、夏場に解かす必要があるので、4～6 月まで閉鎖している。解消するためには掘り起こす必要があり、莫大な予算がかかり無理である。

質問：高校生～2 か月間、インラインホッケーで町を活性化できないか？

田村議員、西山議員（挙手）～参考になる意見である。海外ではそういう取り組みが行われている。帯広の森のスポーツセンターも夏の間、シートを敷いているが、最初からインラインできるように作っておりコンクリの質が違う。本町で行うとなると莫大な費用がかかり難しい。若い声をどんどん発信してほしい。

質問：高校生～現状、本町の観光者は増えているか？

鈴木議員（挙手）～微増。清水町は観光地ではないが、冬のトマム利用のためなど、違う部分で宿泊が増えている。今後は体験型になる。

質問：高校生～清水高校のエアコンは小さい。もう少し大きいエアコンを入れることはできないか？

中河議員（挙手）～清水高校は、道立高校のため町では行えない。私たちの政党では道に要求している。

川上議員（挙手）～町村によっては町村独自でエアコン設置や給食を提供しているところがある。

【代表質問】（模擬議会受講生による質問）

質問：高校生～議員やって一番大変だったことは？

→山本議員へ質問

山本議員～知らないこと多く勉強する必要があることや、人前で話すことが多いことであるが、やりがいはある。

質問：高校生～清水町をどんな町にしたいか。

→田村議員へ質問

田村議員～外の目より、まずは自分たちがどう誇りを持てる町にするかという部分を考えてほしい。皆さんがどういう町にしたいか、議員に限らず、皆さんと議論していければいい町になるのでは。

質問：高校生～清水高校生の印象は。

→只野議員へ質問

只野議員～アイスホッケーがすごい。お菓子や調理のコンテストに入賞するなど活発に取り組んでいる印象。

質問：高校生～議員になる前の職業は？

→川上議員へ質問

川上議員～役場職員。災害も経験した。

質問：高校生～議員をやって良かったことは？

→中河議員へ質問

中河議員～町民の声を聴いて実現したことが町のためになったと実感したとき。町内4か所（週2回）に移動販売が実現したこと。

（3）意見交換会②～町議会議員の方々との座談会

- ・6組の座談会席で行う（各座談会席：生徒6名＋議員2名）
- ・双方向で自由形式の質疑応答で、議員との意見交換を行う。
- ・進め方については、座談会席ごとで自由であるが、最初の話のきっかけづくりは、各座談会の担当議員（ファシリテーター）が行うこととする。最初に簡単な自己紹介は行ってもらふこととする。
- ・前半・後半の2セット実施する（約18分で生徒が隣の座談会席へ移動、タイムキーパーは教員が行う）。

（4）講 評

議長 山下 清美

これから自分はどうしようかなということを含めた質問が多かった。自分の思っているものを、今日と同じようにどんどん外に発信していくことが大事。清水高校で学んだことが、これからの社会を自分たちが変えていくという意気込みを持って取り組んでほしい。議員にも参加してほしい。こういった機会により議会が身近になればと思う。

（5）謝 辞

代表生徒からの謝辞

本日はお忙しい中、私たち清水高校生のために、このような貴重な機会を設けていただき、誠にありがとうございました。議員の皆様から、直接、町の未来や議会のお仕事について、お話を伺い、大変勉強になりました。私たちの学校生活やこの清水町が多く話し合いや思いによって支えられていることを、今日の意見交換会を通じて感じることができました。第1回目という貴重な機会を大切に、今後の学びを深めていきたいと思います。本日は、本当にありがとうございました。

いました。

（６）閉会挨拶

議会運営委員会 副委員長 只野 敏彦

議員も非常に勉強になったと思っていると思う。皆さんのいろいろな声を聴けてためになった。私と一緒にグループで話した方は私以上に議員に向いていると思う。今後も、政治に関心を持っていただき、清水だけでなく、日本の将来のために頑張ってもらいたい。

○意見交換②で話題となった内容（清水高校生徒の振り返りシートより要約）

・清水町の強みについて

人口 8500 人程度で皆さんの要望を聞いているのが強み。住みやすい。子育てしやすい。子どもが住みやすい。病院もあるスーパーもある。仲が良い、子育て、景色、アイスホッケー。

・清水高校に関する事などについて

パンの販売は水曜から金曜までしかないので、月・火の購買の課題。清水高校のことは振興会へ言ったほうがよい。アイスホッケーの試案日程を知らせてもっと応援をしてもらえるようにしたい。

・町名変更について

メリット：「十勝」をつけると、場所がわかりやすく、区別がつく。清水のままではわからない。

「十勝」がつくと売れ筋が変わる。十勝のブランド力ものすごく強い。差別化のため。「十勝」をつけたほうが人気がある。ネームバリュー獲得のため。清水町を知ってもらわないと意味はない。昔は、ご送付があった（小清水との）。

デメリット：町名変更について、農家や町民など困っている人に使うことが優先で、町名変更はあと。議員は町名変更に反対。変更する価値はあるが、町民の意見をしっかり聞いてから変えるべきである。経費が 6,000 万円です。まだお金かかる可能性がある。お金の計算をもっと細かく。プリマハムの後ろのシールとかでお金がかかる。町名変更のお金はどこから出るか（税金を使う）。

その他：町名変更だけではまちは変わらない。

・まちの課題について

アイスホッケーで有名なまちに。清水町に遊ぶ場所、集まれる場所を作ってほしいが、お金と管理人の問題がある。道の駅おとふけ以外は赤字。冬は全然来ない。J R 増やすのは厳しい。清水町のふるさと納税は、「十勝和牛」「牛とろ」「鳥せい」が売れる。大都市等へ出てから、地元に戻るためには、働く場所が必要。人口減少に対しては、清水町にいたくなるような町にする。環境客を増やす。交通の便を良くする。少子化問題。結婚とその先。老後の不安。過去にスキーや温泉がありやめたがアイスアリーナは残した。

・その他

どんな誇りを持てる町にするか、若い人を中心に考えていく。議会は困ったこと、小さなことでも、他者の意見を自分事として応える。他町出身の議員もいる。議員の人となりや家業についての話題。人口減少の中、戻ってきても働くところがないと仕方がない。自分の人生なのでやりたいとことをすることが大切であるが、人口維持のため清水町に残ってほしいという気持ちもある。

○意見交換会での気づきや学び（清水高校生徒の振り返りシートより要約）

- ・議員は清水町・清水町のことを一番理解し、本気でまちをより良くするために考えていると思
 - ・議員は大変な仕事だけど、町を大切にすると感じた。
 - ・質問に対する議員の答えがとても分かりやすかった。
 - ・議員は人と話すことに慣れていて、参考になった。
 - ・議員にもたくさん悩みがあると思った。
 - ・当たり前のことかもしれないが、議員は、町の詳しいことを知っていると感じた。
 - ・議員からは、面白い話や、町への思いなどたくさん聞けて良い経験になった。
 - ・議員と話をしたが、怖いイメージを持っていたが、近くで話すとよい人、私たちと同じ普通の人という感じがして、あまり緊張せず話をするこことや、意見をしっかり伝えることができた。
 - ・議員とは普段関わりがなく堅苦しいイメージであったが、気さくであった。フレンドリーに接してもらい、イメージが変わった。
 - ・模擬議会に関わる議員について知ることができてよかった。話をして距離が縮まった気がした。
-
- ・パネルディスカッションは、緊張したが、座談会は、パネルディスカッションよりも話がしやすかった。
 - ・司会を担当したが、アドリブで話すことが難易度が高いことが分かった。この力を身に着ければ強い武器にもなる。
 - ・普段関わることの少ない議員の意見を聞くことができたり、生徒たちの思いを受け止めて、率直に返答をくれた。
 - ・聞いたかったことが聞けてよかった。
 - ・自分たちの声を議会に届けることができてよかった。
 - ・ここで話をしたことにより、少しでも清水町が変わるきっかけとなればうれしい。自分たちの意見で清水町が変わるといいなと思った。
 - ・議員と町について話ができてよかった。自分の考えが変わったこともあった。
 - ・議員は全員すごく頭の回転が速く質問したら勉強になる回答がすぐに来て参考になった。
 - ・意見交換は、学生と議員の両方にとって良い経験となった。
 - ・パネルディスカッションでは、それぞれの議員の考えや課題を知ることができてよかった。
 - ・座談会では、清水町の強みや現状の課題を知ることができた。ネットで調べて分からない情報

を知ることができた。

- ・町を良くしていくために高校生が必要ということが分かった。
 - ・座談会では、町名変更についての議員の賛否を聞くことができてよかった。町名変更についてのメリット・デメリットについて知ることができて、知識が深まった。
 - ・町名変更についてもっと詳しく調べようと思えるようになった。
 - ・町名変更について、1町民として真剣に考えたいと改めて思った。
 - ・アイスホッケーについて理解してくれていた。
 - ・課題の一つである人口減少を抑える、増やす課題解決に取り組みたい。
 - ・観光協会の理事として、清水町についての興味をより持ち、町のためになればと思った。
 - ・なぜ、こういう取り組みをしないのかと思ったことについても、きちんと理由がありそれを聴けてよかった。
-
- ・政治に興味なかったが、政治に興味を持つ機会となった。
 - ・清水町の名を広められるよう頑張っていきたい。
 - ・清水町をより良くするために自分たちが考えられること考えていきたい。
 - ・投資に興味があり、ふるさと納税について詳しく知ることができてよかった。
 - ・若い人の意見が大事だと知った。様々な人からの意見が大事だと思った。
 - ・課題を見つけ、解決することがすごく大事な仕事だと思った。
-
- ・こういう機会があれば、また参加したい。また話せる機会がほしいと考える。このような場が良い経験となった。今後このようなことがあっていいと思う。
 - ・思っていたより楽しかった。